

(別添)

2021年6月24日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中 部 支 所

News Release



エアコンと携帯扇風機が大活躍！でも事故で冷や汗はご勘弁 ～夏に知っておくべき危険～ ～ 東海4県版 ～

NITE (ナイト) が収集したエアコン^{※1}による事故情報^{※2}は、東海地方4県 (静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県) では、2016年度～2020年度までの5年間に合計37件^{※3}あり、被害状況は重傷2件 (5%)、軽傷1件 (3%)、拡大被害29件 (78%) 製品破損5件 (14%) となっています。そのうち34件 (92%) が火災に至っています。携帯扇風機の事故情報はなかった。

- (※1) ルームエアコン (室外機、室内機)。
- (※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故 (ヒヤリハット情報 (被害なし) を含む)。
- (※3) 2021年4月末日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

1. エアコンによる製品事故の発生状況

(1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1にエアコンによる製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 エアコン「県別」及び「年度別」の事故発生件数 (単位: 件) ^{※3}

| 年度 | 静岡県 | 愛知県 | 岐阜県 | 三重県 | 総計 |
|--------|------------|------------|----------|----------|------------|
| 2016年度 | 4 (4) | 4 (2) | 1 (1) | 1 (1) | 10 (8) |
| 2017年度 | 2 (2) | 1 (1) | 1 (1) | 0 | 4 (4) |
| 2018年度 | 0 | 4 (4) | 2 (2) | 1 (1) | 7 (7) |
| 2019年度 | 3 (3) | 6 (5) | 1 (1) | 0 | 10 (9) |
| 2020年度 | 2 (2) | 4 (4) | 0 | 0 | 6 (6) |
| 合計 | 11 (11) | 19 (16) | 5 (5) | 2 (2) | 37 (34) |

(※3) ()は火災件数。

(2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 にエアコンによる製品事故の「県別」及び「被害状況別^{※4}」の事故発生件数を示します。

表 2 エアコン「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）^{※3}

| 被害状況 ^{※5} | | 静岡県 | 愛知県 | 岐阜県 | 三重県 | 合計 |
|--------------------|------|------------|------------|----------|----------|------------|
| 人的被害 | 死亡 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 重傷 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| | 軽傷 | 0 | 1 (1) | 0 | 0 | 1 (1) |
| 物的被害 | 拡大被害 | 9 (9) | 13 (13) | 5 (5) | 2 (2) | 29 (29) |
| | 製品破損 | 2 (2) | 3 (2) | 0 | 0 | 5 (4) |
| 合計 | | 11 (11) | 19 (16) | 5 (5) | 2 (2) | 37 (34) |

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている

(3) 東海 4 県のエアコンによる年度別及び月別 事故発生件数

図 1 にエアコンによる製品事故の「年度別」の事故発生件数を示します。図 2 にエアコンによる製品事故の「月別」の事故発生件数を示します。エアコンは、6 月～7 月に事故が多く発生しています。

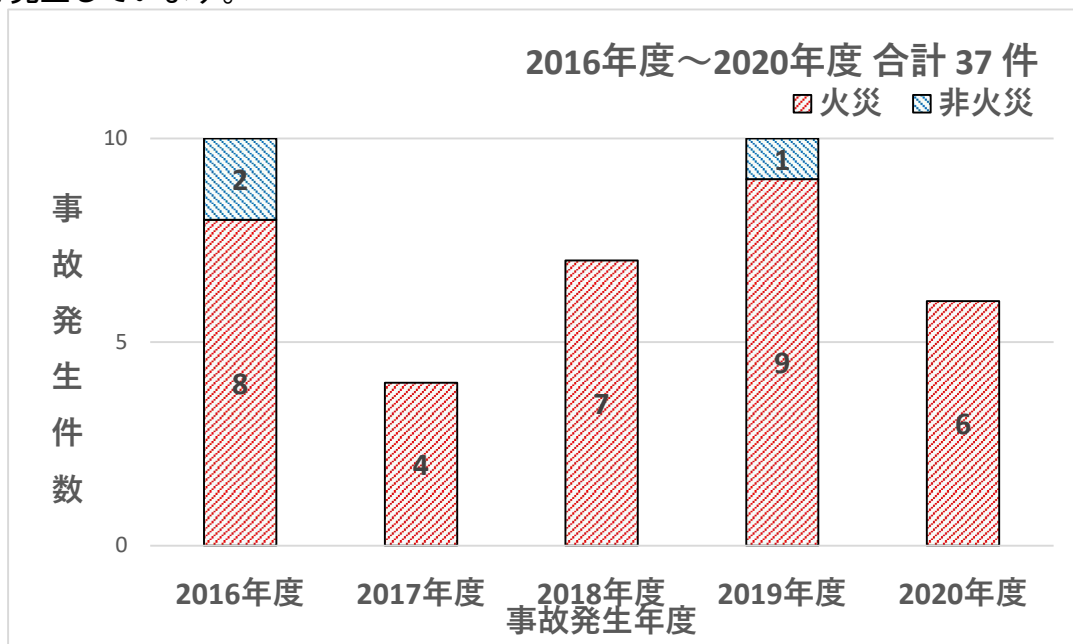


図1 エアコンの年度別 事故発生件数

2016年度～2020年度 合計 37 件

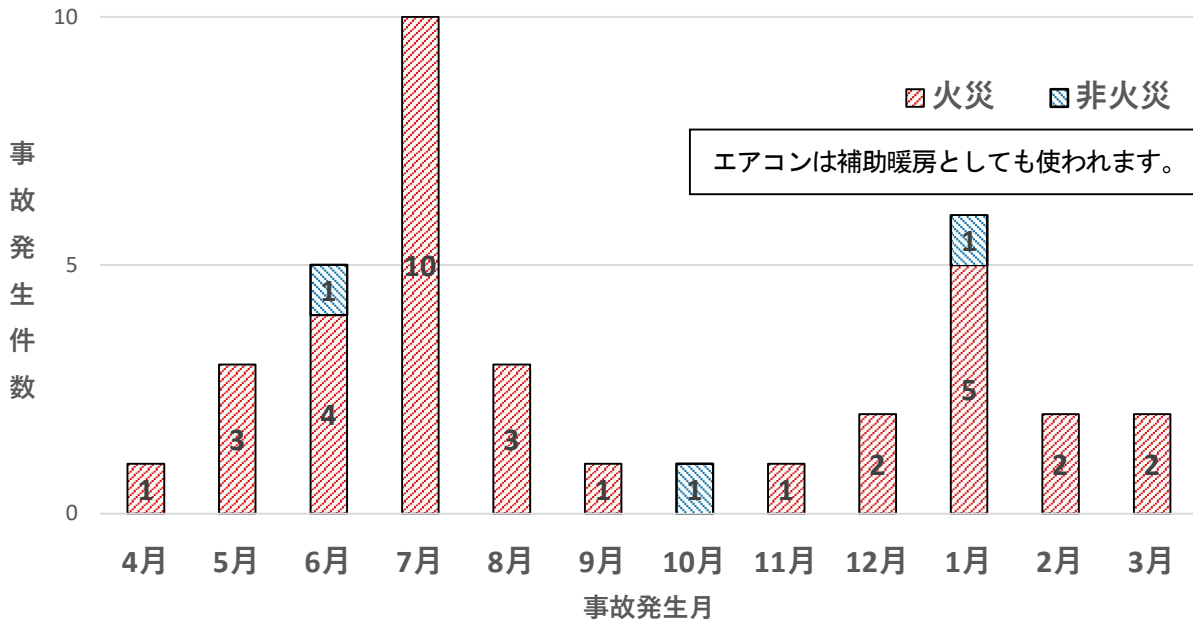


図2 エアコンの月別 事故発生件数

2. エアコンによる製品事故の事故事例

洗浄液の付着によりトラッキングが発生し、エアコンを焼損した。

2019年6月（愛知県、年代不明・性別不明、拡大被害）

【事故内容】

エアコン及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故原因】

エアコン洗浄業者による不適切な洗浄により洗浄液がファンモーターのコネクター部に付着し、端子間でトラッキング現象が生じたため出火に至ったものと推定される。

なお、日本冷凍空調工業会では、ホームページ上において、「誤った洗浄剤の選定、使用方法で内部洗浄を行うと、エアコン内部に残った洗浄剤で、樹脂部品の破損、電気部品の絶縁不良などが発生し、最悪の場合は、発煙、発火につながる恐れがある。」旨、注意喚起を行っている。

室内機と室外機を途中接続した配線から、接触不良が発生してエアコンを焼損した。

2016年7月（岐阜県、年代不明、男性、拡大被害）

【事故内容】

エアコン室外機付近から出火し周辺を焼損した。

【事故原因】

施工業者が室内機と室外機を接続する配線を差し込みコネクターにより途中接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し焼損したものと推定される。

なお、据付説明書には、「配線を途中接続しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。



写真 エアコンの再現実験写真

3. エアコンと携帯扇風機による製品事故の実験映像について

エアコンと携帯扇風機による製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「NITE（ナイト）・中部支所」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 山本 耕市

担当者：横田、横山

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902、携帯：080-3736-7515

以上